

第2節 資料館における社会教育活動

1. 山口県立山口博物館との連携事業『講座 古代ウォーク』

平成27(2016)年6月24日に山口博物館と連携協力協定を締結して以降、毎年継続して実施している事業が講座『古代ウォーク』である。山口県内を県央部、東部、北部、西部の4ブロックに分け、順次見学地域を設定し、出土資料を熟覧し、実際に遺跡地をめぐるという内容で、その際に重視している点は、当該自治体と連携しながら、未公開の資料も含め出土資料を確認すること、周辺地形と遺跡の立地を確認するため、できる限り遺跡地まで歩くことなどである。

令和4年度は3年ぶりに県西部を対象とすることが決定しており、山口博物館との協議により、小地域として山陽小野田市厚狭地区を選定した。厚狭地区は周囲を山に囲まれた小盆地であるが、古代から交通の要所として重要視された場所である。一方で、丘陵地には古墳や経塚の分布が知られているものの、盆地床の遺跡の様相は解明されぬまま現在に至っている。

開催にあたり、山陽小野田市教育委員会の協力のもと、6月10日(金)、9月12日(月)、11月3日(木・祝)にコース設定・安全確認のため視察を行い、13名の参加者を迎えて11月12日(土)に開催することとなった。当日のスケジュールは以下の通りである。

- 12時30分 受付開始
- 13時00分 山陽小野田市厚狭地域交流センターにて事前解説(写真14)
山陽小野田市立厚狭図書館にて出土品見学
- 13時45分 徒歩で移動[1.7km](写真15)
- 14時05分 杵古墳(6世紀後半の横穴式石室墳※移築)見学と解説(写真16)
- 14時25分 徒歩で移動[3.0km](写真17)
- 15時10分 妙徳寺山古墳(5世紀前半の石棺系竪穴式石室を有する前方後円墳)
見学と解説(写真18)
- 15時30分 徒歩で移動[2.2km]
- 16時00分 山陽小野田市厚狭地域交流センターに到着・アンケート記入・解散

2遺跡のみの見学であったため、移動時間ばかりが長い講座となってしまったが、道中古墳時代の陸上交通と海上交通を想像してもらい、地域の情報を交換しながら歩いたことから、全長約7kmにおよぶコースを緩むことなく歩ききることができた。

参加者からは「厚狭に住んでいて日頃目にしていた古墳のことをいろいろ知ることができて楽しかった」という声や、「長光寺山古墳(4世紀後半の竪穴式石室を有する前方後円墳)も訪れてみたかった」という声が寄せられた。厚狭地区での講座であれば当然の要望と思われた。

講座修了後に、館員2名と3年前から参加し続けてくれている古墳愛好者1名で長光寺山古墳の見学を行った(写真19)。長光寺山古墳に関しては、事前解説で詳しく説明したが、やはり実際に遺跡地に行かなければ得ることができない情報もある。日が傾きつつある中、山口県を代表する前方後円墳の上で強く再認識することとなった。

また、充実した講座となったのは、山陽小野田市教育委員会諸氏の全面的な協力によるところが大きい。末筆ではあるが記して感謝の意を表したい。



写真 14 山陽小野田市厚狭地域交流センターでの解説



写真 15 厚狭川沿いを歩き沓古墳へ



写真 16 沓古墳見学・解説



写真 17 妙徳寺山古墳へ



写真 18 妙徳寺山古墳見学・解説



写真 19 解散後希望者と長光寺山古墳見学